

レベル：初級
領域：「領域共通」

2019 年度

一般社団法人 日本臨床心理士会臨床心理講座

小児がんの抗がん剤の治療による影響、認知の問題を知る —小児がんの心理臨床③—

講座の内容：2019年に小児がんの拠点病院が厚労省で、再度15施設が選ばれている。拠点病院だけでなく、近年は多くの病院の小児科病棟で抗がん剤の治療は行われている。小児がんにおける治療は、年々めざましく進歩しており、寛解には入った子どもたちの多くが、幼稚園・保育園・小・中学校・高校など社会に戻っていく時代を迎え、教育相談、スクールカウンセラーなどで働く心理職が会うことはレアケースということではなくなりつつある。小児がんの子供たちは寛解には至って退院はできたけれども、日常生活に戻り、学校適応や学習面で困難感がある子どもたちも少なくない。また抗がん剤による晩期障害及び認知機能への影響についても、近年言われるようになっており、子供や保護者への細やかな配慮が必要とされている。本講座では、小児がんについての一般的概論と抗がん剤の認知面に及ぼす心理的影響などをテーマとして、医師・臨床心理士を講師としてお招きし、このような問題への理解を深めるための研修を実施したいと考えている。

はじめに成育医療センターの医師松本先生に、小児がんの概論と認知機能への影響についてお話しいただき、午後には、佐藤先生に、知能検査に現れる認知機能の問題について、現場の藤井先生から、現状どんな子供たちの問題として認知機能の問題の実情があるのかについて、講義していただく予定である。（工藤宏子・横山恭子企画）

講師：松本 公一（国立成育医療センター小児がんセンター 医師）
佐藤 聡美（聖路加国際大学公衆衛生大学院講師 臨床心理士）
藤井 美有（兵庫県立こども病院 臨床心理士）

日時：2020年 1月26日（日）10:30～16:30

場所：文京区本郷2-27-8 ユニゾ本郷二丁目ビル2階 当会会議室

<http://www.jsccp.jp/center/access.php>

参加資格：臨床心理士・大学院生 定員50名

参加費：社) 日本臨床心理士会 会員 5,000円
臨床心理士 非会員 8,000円
大学院生（臨床心理士資格未取得に限る） 3,000円

ポイント：2

申し込み方法：（社）日本臨床心理士会 WEB ページよりお申し込みください。

<受付手順> WEB 申込で送信してください。



受付けた旨をメールで返信します。

<手順の説明>



受講料のご入金



「受講票」を送信します。